

氏名	高崎 博司	部署	理学療法学科	職名	講師
研究分野	運動器理学療法				
学位	博士(理学療法)				
学歴	2004年札幌医科大学理学療法学科、6年札幌医科大学大学院修士課程保健医療学研究科徒手療法学専攻、13年クイーンズランド大学大学院博士課程				
経歴	2013年クイーンズランド大学博士研究員、14年埼玉県立大学理学療法学科講師				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本整形外科スポーツ医学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	Cervical kinematic training with and without interactive VR training for chronic neck pain – a randomized clinical trial.	共著	Manual Therapy 20(1)68-78	Sarig Bahat H, Takasaki H, Chen X, Bet-Or Y, Treleaven J.	2015年2月
2	High variability of the subjective visual vertical test of vertical perception, in some people with neck pain – Should this be a standard measure of cervical proprioception?	共著	Manual Therapy 20(1)183-188	Treleaven J, Takasaki H	2015年2月
3	Taping across the upper trapezius muscle reduces activity during a standardized typing task – an assessor-blinded randomized cross-over study.	共著	Journal of Electromyography and Kinesiology 25(1) 115-120	Takasaki, H. Delbridge, B. M. Johnston, V.	2015年2月
4	Attitude Towards the Use of Mechanical Diagnosis and Therapy and Reliability of Classification Extremity Problems by Credentialed Therapists	共著	Journal of Chiropractic Medicine 14(1) 32-38	Takasaki, H. Iwasada, Y. May, S.	2015年3月
5	Comparable effect of simulated side bending and side gliding positions on the direction and magnitude of lumbar disc hydration shift: in vivo MRI mechanistic study.	単著	Journal of Manual & Manipulative Therapy 23(2) 101-108	Takasaki H	2015年5月
6	A modified quantitative MRI analysis method to identify the direction of shift in lumbar disc hydration over the axial MRI in response to side-bending.	共著	Bio-Medical Materials and Engineering 25 (3)327-334	Takasaki H, Lim EC.	2015年6月
7	Physiotherapist-led neck-specific exercise improves pain, disability and self-efficacy in chronic whiplash-associated disorders [comentary]	単著	Journal of Physiotherapy 61(3) 161	Takasaki H	2015年7月
8	徒手療法の歴史とアスリートに対する関節モビライゼーションにおけるエビデンス	単著	臨床スポーツ医学 32(10) 918-921	高崎博司	2015年10月
(3) 学会発表					
1	四肢の問題に対するMDT分類のセラピスト間一致率	単著	マッケンジー法シンポジウム、東京	○高崎博司	2015年6月

2	Attitude towards the use of Mechanical Diagnosis and Therapy and reliability of classification for patients with extremity problems in credentialed therapists	共著	第13回International Conference in Mechanical Diagnosis and Therapy、コペンハーゲン	○Takasaki H, Iwasada Y, May S	2015年9月
3	Inter-examiner reliability of Mechanical Diagnosis and Therapy classification for extremity pain	単著	第13回International Conference in Mechanical Diagnosis and Therapy、コペンハーゲン	○Takasaki H	2015年9月
<b>2. 競争的資金等の研究</b>					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)		習慣的座位姿勢の改善がマッケンジー法による腰痛改善程度に与える影響の解明(研究責任者)		2015年4月-2018年3月
<b>3. 教育業績</b>					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
<b>(1) 講義</b>					
1	身体機能運動学	2015年4月-8月	運動学と神経生理学のつながりを説明した		
2	生体力学応用分析学	2015年11月	力学的な理学療法評価治療を指導した		
3	運動器障害治療学特論(大学院)	2015年4月-8月	運動器理学療法の評価と治療を指導した		
<b>(2) 演習</b>					
1	理学療法セミナー(OSCE1)	2015年8月	理学療法評価の実践能力を評価した		
2	理学療法セミナー(OSCE2)	2015年4月	理学療法評価の実践能力を評価した		
3	理学療法特別演習	2015年10月-2016年3月	統計学・研究法について国家試験の対策を行った		
4	リハビリテーション学演習(運動器障害治療学)(大学院)	2015年10月-2016年3月	高度な運動器理学療法の評価と治療を指導した		
<b>(3) 実習</b>					
1	運動学実習	2015年4月-8月	運動学に関する実習を行った		
2	物理療法学実習	2015年4月-8月	温熱・寒冷・光線療法の実習と徒手的牽引や軟部組織モビライゼーションの指導をした		
3	IPW実習	2015年10月	連携と統合を学ぶ実習のファシリテーターをした		
4	機能診断学実習	2015年10月-2016年3月	徒手的スペシャルテストの腰部下肢編の実技指導を行った		
5	臨床教育実習I	2016年2月-3月	副担任として実習中の対応をした		
6	臨床教育実習II	2015年10月-11月	実習地訪問と学生評価を行った		
7	臨床教育実習III	2015年4月-6月	実習地訪問と学生評価を行った		
8	臨床教育実習IV	2015年6月-8月	実習地訪問と学生評価を行った		
<b>(4) 論文指導</b>					
1	該当なし				
<b>(5) その他</b>					
1	該当なし				
<b>4. 社会貢献活動</b>					
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	せんだメディカルクリニック 研修会	せんだメディカルクリニック	エビデンスに基づくむち打ち症の評価・治療法		2015年4月
2	第23回 アクティブライフマネジメント勉強会	健康科学大学	むち打ち症に対するオーストラリアのガイドラインとエビデンスから考えられる治療アルゴリズム		2015年6月
3	第4回 西川整形外科リハビリテーション研究会	西川整形外科	Patient Centered Approachの実践		2016年2月
4	平成27年度 臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学	エビデンスに基づくむち打ちの評価・治療 - オーストラリアの診療ガイドラインを用いて		2015年9月
5	日本徒手理学療法学会 特別セミナー	日本徒手理学療法学会	Lumbopelvic Motor Control: Integrated approach to clinical assessment and treatment of motor control dysfunction(通訳)		2015年9月

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	第51回日本理学療法学会大会	学会準備委員(広報渉外局局長)	2015年10月-2016年5月
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	国際交流委員会 委員		
2	FD企画部 委員		
3	SPU学会 理事		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		